

いっしょに!

みんなのまち 新吉田

「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画の愛称です。

◇わたしたちが目指すまち

**地域とのつながりを大切に
みんなが手をつなぐまち 新吉田**
～支えあい 明るく安心して暮らせるまち～
～世代間の交流 話し合いができるまち～
～なかよく健康にすごせるまち～

◇主な施設分布状況



◆ 地区の概況

地区の概況

区の中央部にあり地区の東側・北側を早渕川、南側を鶴見川に接し、地区の東側は戸建てが多く、南側は集合住宅、事業所、商業施設等が混在し、北側、西側は起伏のある丘陵地で市街化調整区域であり、住宅、事業所、農地、樹林地が混在しています。

人口等の特徴

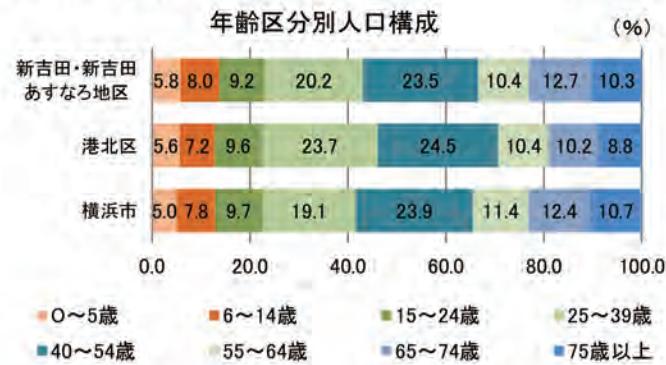
現在、35～49歳が多い年齢構成であり、平均世帯人員は区の平均を上回っています。居住歴が長い人が多く、高齢者の比率が区や市の平均を上回っています。今後は現在人口の多い40～44歳を中心とした世代が徐々に減少し、また、65～69歳前後の世代も、死亡等により徐々に減少していきます。一方20歳代の転入増加傾向が続いているため、25～34歳が増加します。高齢者の増加は今後とも続きます。（*人口、世帯数のデータは新吉田あすなろ地区と共通です）。

福祉保健活動の状況

新吉田連合町内会、新吉田地区社会福祉協議会が中心になっている他、ボランティア団体の「ほっと新吉田」「もみじの会」等が協働し、地区の福祉保健活動に積極的に取り組んでいます。災害時要援護者の支援、高齢者への支援、子育て支援等の活動を幅広く先駆的に行っています。

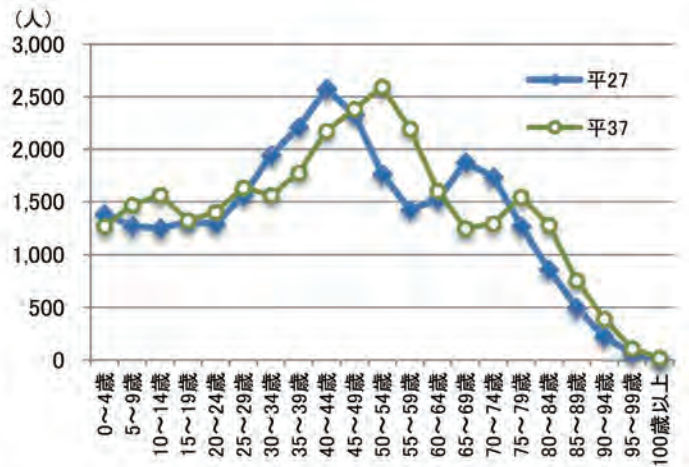
人口、世帯数などの状況（平成27年9月末現在）

人口 28,357 人
世帯数 12,654 世帯
平均世帯人数 2.24 人/世帯（区平均2.06人/世帯）



（※人口、世帯数のデータは新吉田あすなろ地区と共通です）

年齢別人口の現状と見通し



◆ 2期計画までの取り組みと3期計画の方向性

●今までの取り組み

「災害時要援護者の支援」「高齢者への支援」「子育て世帯への支援」を3つの柱として取り組み、要援護者名簿とマップの作成、認知症徘徊高齢者見守りネットワーク「さがしてネット」の実施、未就園子育てサロン「よしだっこ」の開設とそれぞれに効果を上げ、また、地域の多様なイベントもあわせ、顔と顔がにつながる活動を進めてきました。

●地域の現状と課題

住民の高齢化が進み、単身者の増加もあり、支援が必要な高齢者が増えることが予想されます。一方で若年世帯、子育ての世代の転入も続き、地域との繋がりづくりが必要です。

さまざまな活動や行事も活発ですが、担い手の高齢化や男性が少ないこと、今まであまり参加していない人たちをいかに地区に関わってもらうかなどが課題です。

●今後の方向性

今まで取り組んできた3つの柱の活動をさらに拡充していくとともに、「健康づくり」を新たに加え4本の柱とし、「健康づくり部会」「高齢者支援部会」「子育て支援部会」「要援護者支援部会」の4部会が中心となり、誰もが皆いきいきと暮らせるように展開していきます。

◆ 計画推進の体制・振り返りの方法

町内会・自治会と地区社会福祉協議会、地域福祉活動団体の代表者で構成、年2回以上、推進委員会を開催し、推進状況の確認や1年ごとの振り返りを行います。

◆具体的な取り組み

誰でも参加できる健康づくりの活動を推進します

- 住民の健康寿命を伸ばすことを啓発します。
- 介護予防や健康づくりの体操教室を支援し推奨します。
- ウォーキングの推奨、ウォークラリー大会等の支援を行います。
- ラジオ体操の奨励、運動会やペタンク大会、グラウンドゴルフ大会等の場を活用して体力向上の啓発、普及を図ります。
- 普段地域の活動へ参加していない人の参加を促進するため、広報の充実等を行います。



高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりを進めます

- 「さがしてネット*」の取り組みを充実します。
 - ・ 認知症の啓発活動を行います。
 - ・ 認知症徘徊高齢者を発見する模擬訓練を周辺地域とともに実施します。
- 老人クラブ等の活動支援や高齢者が参加しやすい活動（例：手芸や趣味の会等）を支援し、推奨します。
 - * 「さがしてネット」とは、認知症の理解を広げ、高齢者の徘徊を早期に発見する支えあいのネットワークです。



安心して子育てができるように支援します

- 未就園児子育てサロン「よしだっこ」の運営を継続し充実を図ります。
 - ・ 必要な方に「よしだっこ」の情報が届く広報を目指します。
 - ・ 企画や運営に関わる方を増やす工夫を行います。
- 親子で参加できる「ふれあい動物園」や、もみじの会「収穫体験」等の活動を継続し、多世代交流の機会をつくります。
- 子ども会、小学校、中学校と地域が連携し、福祉教育の充実を図り、子どもと地域のつながりを深めます。



支援が必要な人を地域で支える取り組みをします

- 災害時要援護者支援を充実します。
 - ・ 要援護者の把握に努め、安否確認の方法や体制作りを進めます。
 - ・ 日頃の挨拶の励行、隣近所の助け合いや日常の見守り行動など、「共助」を目指した住民意識の向上に取り組めます。
- 小学生、中学生が防災体験活動を通じて、地域の中で見守り支えあうことの理解を進めます。
- 困りごとを気軽に相談できる、地域の支えあいボランティア「ほっと新吉田」の活動を継続し、より充実するように取り組みます。
- 誰でも利用ができるボランティアセンター「やすらぎの家」の効果的な活用を図ります。



「ひろがる」「つながる」「とどく」は、理解と参加の「ひろがり」による活発な地域づくり、人の「つながり」で進める安心なまちづくり、支援が「とどく」仕組みづくり、の3つの計画推進の柱を表しています。



新吉田地区の活動

【子育て支援】

未就園子育てサロン

「よしだっこ」

親子コンサート

ふれあい動物園

ふれあい動物園

【高齢者への支援】

地域のみなさんで徘徊らしい人を見かけた時は、このプレートがかかっている拠点へ連絡してください

「さがしてネット」

登録はこちらから



【災害時要援護者支援】

調査作成した「**支え合いカード**」の内容を、自治会町内会を中心に、再度点検しました。

また、登録情報を、いざという時に活かせるよう、要援護者マップを作成しました。

新吉田地区では、各自治会町内会を中心に健康づくり活動に取り組んでいます。

☆町内会館が会場☆

- ▶みんなのサロン
- ▶元気な笑顔
- ▶さわやか北部
- ▶ひばり会
- ▶なでしこ会
- ▶さわやか体操

☆地区センターが会場☆

- ▶新田クラブ
- ▶シルバー体操新吉田
- ▶さわやかクラブ
- ▶さわやか虹

☆ケアプラザが会場☆

- ▶健身会
- ▶ふきのとう
- ▶すみれ会

【健康づくり】

「老人会」

ゲートボール、手芸、趣味の会などを開催しています。

- 寿会 (新吉田中央町内会/新吉田第二町内会)
- さくら会 (本町町内会)
- 老親会 (北部町内会)
- さつきクラブ (東町会)
- 新吉田おもと会 (新吉田町会)
- 若松会 (吉住会)
- 新生シニアクラブ (新生町内会)
- ときわクラブ (西部町内会)
- きらく会 (南町会)

毎月第2木曜日
10時～11時30分
中央町内会館にて開催中



ほっと新吉田

～ご利用案内～

新吉田地域の高齢者、障害のある方、「困りごと」に「手」をお貸しします。
申込み・お問合せ：祝日を除く月・水・金 10時～15時
◆「やすらぎの家」 ☎/FAX 045-591-6480
◆「ほっと新吉田」 電話 080-5408-9228
080-6602-7809



港北区ボランティアセンター

やすらぎの家

～あなたの空いている時間を誰かの為に使いませんか～

「ボランティアを求めている人」「ボランティアをしたい人」からの相談窓口として機設しをします。

また、地域の様々な活動交流の場としても活躍しています。

☎ / FAX : 045-591-6480

開館日：月・水・金 10:00～15:00

「やすらぎの家」は新吉田地区社会福祉協議会と港北区社会福祉協議会協働で運営を行っています。



● 地区の活動に関する問い合わせ ●

新吉田地区社会福祉協議会

TEL 045-591-6480 FAX 045-591-6480

新吉田地域ケアプラザ

TEL 045-592-2151 FAX 045-592-0105

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

● 「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ ●

港北区福祉保健課事業企画担当

TEL 045-540-2360 FAX 045-540-2368

Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

Eメール info@kouhoku-shakyo.jp